

## 【表紙】

|                       |   |
|-----------------------|---|
| 【提出書類】                | 訂正発行登録書   |
| 【提出先】                 | 関東財務局長  |
| 【提出日】                 | 2020年8月25日  |
| 【会社名】                 | アサヒグループホールディングス株式会社   |
| 【英訳名】                 | Asahi Group Holdings, Ltd.  |
| 【代表者の役職氏名】            | 代表取締役社長 兼 CEO 小路 明善   |
| 【本店の所在の場所】            | 東京都墨田区吾妻橋一丁目23番1号   |
| 【電話番号】                | 03(5608)5116  |
| 【事務連絡者氏名】             | 執行役員財務部門長 坂野 俊次郎  |
| 【最寄りの連絡場所】            | 東京都墨田区吾妻橋一丁目23番1号   |
| 【電話番号】                | 03(5608)5116  |
| 【事務連絡者氏名】             | 執行役員財務部門長 坂野 俊次郎  |
| 【発行登録の対象とした募集有価証券の種類】 | 社債  |
| 【発行登録書の提出日】           | 2020年6月1日   |
| 【発行登録書の効力発生日】         | 2020年6月9日   |
| 【発行登録書の有効期限】          | 2022年6月8日   |
| 【発行登録番号】              | 2 - 関東1   |
| 【発行予定額又は発行残高の上限】      | 発行予定額 700,000百万円  |
| 【発行可能額】               | 700,000百万円<br>(700,000百万円)<br>(注) 発行可能額は、券面総額又は振替社債の総額の合計額(下段<br>( )書きは発行価額の総額の合計額)に基づき算出した。                        |
| 【効力停止期間】              | この訂正発行登録書の提出による発行登録の効力停止期間は、<br>2020年8月25日(提出日)である。   |
| 【提出理由】                | 2020年6月1日に提出した発行登録書の「第一部 証券情報」の<br>うち、「第1 募集要項」の記載について訂正を必要とするため<br>及び「募集又は売出しに関する特別記載事項」を追加するため、<br>本訂正発行登録書を提出する。 |
| 【縦覧に供する場所】            | 株式会社東京証券取引所<br>(東京都中央区日本橋兜町2番1号)  |

## 【訂正内容】

## 第一部【証券情報】

## 第1【募集要項】

<アサヒグループホールディングス株式会社第13回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）及びアサヒグループホールディングス株式会社第14回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）（別称：アサヒグループグリーンボンド）に関する情報>

## 1【新規発行社債】

（訂正前）

未定

（訂正後）

本発行登録の発行予定額のうち、金100,000百万円を社債総額とするアサヒグループホールディングス株式会社第13回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）（以下第13回債という。）及び金10,000百万円を社債総額とするアサヒグループホールディングス株式会社第14回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）（以下第14回債という。）（別称：アサヒグループグリーンボンド）を、下記の概要にて募集する予定です。

<アサヒグループホールディングス株式会社第13回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）>

各社債の金額：金1億円

発行価格：各社債の金額100円につき金100円以上

償還期限（予定）：2023年10月（3年債）（注）

払込期日（予定）：2020年10月（注）

（注）それぞれの具体的な日付は今後決定する予定です。

<アサヒグループホールディングス株式会社第14回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）（別称：アサヒグループグリーンボンド）>

各社債の金額：金1億円

発行価格：各社債の金額100円につき金100円

償還期限（予定）：2025年10月（5年債）（注）

払込期日（予定）：2020年10月（注）

（注）それぞれの具体的な日付は今後決定する予定です。

## 2【社債の引受け及び社債管理の委託】

（訂正前）

未定

（訂正後）

社債の引受け

第13回債及び第14回債を取得させる際の引受金融商品取引業者は、次の者を予定しております。

| 引受人の氏名又は名称       | 住所                |
|------------------|-------------------|
| 野村證券株式会社         | 東京都中央区日本橋一丁目9番1号  |
| 大和証券株式会社         | 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 |
| S M B C 日興証券株式会社 | 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号 |
| みずほ証券株式会社        | 東京都千代田区大手町一丁目5番1号 |

（注）1．元引受契約を締結する金融商品取引業者は上記を予定しておりますが、各引受人の引受金額、引受けの条件については、利率の決定日に決定する予定です。

2．野村證券株式会社の住所は、2020年10月1日以降は「東京都中央区日本橋一丁目13番1号」となります。

### 3【新規発行による手取金の使途】

#### (1)【新規発行による手取金の額】

(訂正前)

未定

(訂正後)

払込金額の総額110,000百万円(発行諸費用の概算額は未定)

(注)上記金額は、第13回債及び第14回債の合計金額です。

#### (2)【手取金の使途】

(訂正前)

借入金返済資金、社債償還資金、コマーシャルペーパー償還資金、グループファイナンス資金、設備投資資金及び投融資資金に充当する予定であります。

(訂正後)

借入金返済資金、社債償還資金、コマーシャルペーパー償還資金、グループファイナンス資金、設備投資資金及び投融資資金に充当する予定であります。

なお、第14回債発行による手取金は、当社が策定した「アサヒグループ環境ビジョン2050」のうち、気候変動への対応として、当社の子会社を通じた国内外における再生可能エネルギー電力の購入やコジェネレーションシステムや冷凍機等の省エネ性能の高い生産設備の導入、省エネルギー型自動販売機の導入に係る資金に充当し、持続可能な資源利用への対応として、当社子会社を通じた国内外におけるリサイクルPETの調達やバイオマスプラスチックの調達に係る資金及び当社社有林の維持管理に係る資金に充当する予定であります。

「第一部 証券情報」「第2 売出要項」の次に以下の内容を追加します。

### 【募集又は売出しに関する特別記載事項】

<アサヒグループホールディングス株式会社第14回無担保社債(特定社債間限定同順位特約付)(グリーンボンド)(別称:アサヒグループグリーンボンド)に関する情報>

#### グリーンボンドとしての適格性について

当社は、グリーンボンドの発行のために「グリーンボンド原則(Green Bond Principles)2018」(注)1.及び「グリーンボンドガイドライン2020年版」(注)2.に即したグリーンボンドフレームワークを策定しました。

なお、グリーンボンドに対する第三者評価として、株式会社日本格付研究所(以下「JCR」という。)より、「JCRグリーンボンド評価」(注)3.の取得を予定しております。

(注)1.「グリーンボンド原則(Green Bond Principles)2018」とは、国際資本市場協会(ICMA)が事務局機能を担う民間団体であるグリーンボンド原則執行委員会(Green Bond Principles Executive Committee)により策定されているグリーンボンドの発行に係るガイドラインです。

2.「グリーンボンドガイドライン2020年版」とは、グリーンボンド原則との整合性に配慮しつつ、市場関係者の実務担当者がグリーンボンドに関する具体的対応を検討する際に参考とし得る、具体的対応の例や我が国の特性に即した解釈を示すことで、グリーンボンドを国内でさらに普及させることを目的に、環境省が2020年3月に策定・公表したガイドラインです。

3.「JCRグリーンボンド評価」とは、ICMAが作成したグリーンボンド原則及び環境省が策定したグリーンボンドガイドライン2020年版を受けたグリーンボンドに対するJCRによる第三者評価。当該評価においてはグリーンボンドの調達資金の使途がグリーンプロジェクトに該当するかの評価である「グリーン性評価」及び発行体の管理・運営体制及び透明性について評価する「管理・運営・透明性評価」を行い、これら評価の総合評価として「JCRグリーンボンド評価」が決定される。